



2022年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社ドウシシャ
代 表 者 名 代表取締役社長 野村 正幸
コード番号 7483 東証プライム市場
問 合 せ 先 常務執行役員 小柳 伸成
(TEL: 06-6121-5666)

ドウシシャグループ中期経営計画の策定について

当社は、2022年度（47期）から2024年度（49期）までの3年間を対象とするドウシシャグループ中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループはこれまで、「我々は同志的結合をもって、〈つぶれないロマンのある会社〉をつくり、社会に貢献できる会社作りをしよう」という「創業の精神」に則り、「売り手よし（得意先・消費者）」「買い手よし（仕入先）」「世間よし（社会・株主）」「働き手よし（社員・家族）」から成る「四方よし」の精神に基づき、「世界に2つとない会社づくり」をビジョンに掲げて事業経営に取り組んでまいりました。

昨今のESGに代表される社会的要請も視野に入れてこの度、「成長戦略」「BS戦略」「ESG戦略」の3つを重点戦略とする2022年度（47期）から2024年度（49期）までの3年間を対象とする中期経営計画を策定いたしました。

「成長戦略」については、既存事業の伸長に加えて、「非連続な事業の創出」「EC事業・海外事業の伸長」に取り組み、連結経常利益で2023年3月期（47期）に84億円、2025年3月期（49期）に100億円の達成、単体売上高も2023年3月期（47期）に971億円、2025年3月期（49期）に1,180億円の達成など、持続的な成長を目指してまいります。

「非連続な事業の創出」とは、「仕入先2,100社と得意先4,800社を活かした、新たな切り口による価値創造」に率先して取り組んでゆくことであり、具体的には、健康志向のスマートウォッチの販売代理店を担う当社時計事業のポジションを活かし、商品販売による「商品価値の提供」に留まらず、「健康データの分析」による継続的なエンドユーザーとの関係性構築による「体験価値の提供」へまで踏み込む事業拡大などを志向しております。

「EC事業・海外事業の伸長」とは、EC以外の事業・国内事業よりも高い売上成長率を、EC・海外それぞれの事業で志向することであり、「非連続な事業の創出」同様、当社の今後の成長における重要な領域として認識しております。

具体的には、2022年度（47期）から2024年度（49期）までの3年間で、単体売上高として年平均成長率+10.5%を計画しておりますが、EC事業は+24%・海外事業は+27%とそれぞれ、全体平均より高い成長率を計画しております。

これらに加えて、2022年5月9日開催の当社取締役会において、ストック・オプション（新株予約権）の付与に関して、2022年6月29日開催予定の当社第46回定時株主総会に付議することを決議いたしました。当社グループの業績向上に対する意欲や士気を高めることにより、上述の成長戦略実現を踏まえた「ロマンある会社づくり」をより確実なものとしてまいります。

「BS戦略」とは、「創業の精神」における<つぶれないロマンのある会社>づくりの一環として、経営の意志として剰余金のうち400億円程度を「有事に耐える財務基盤」として維持しつつ、自社株取得も含めて安定的な株主還元を実現してゆくものです。

これらに加えて、機動的なM&Aや事業提携を継続検討することで株主価値向上に取り組み、「つぶれない会社づくり」をより強固なものにしてまいります。

「ESG戦略」とは、「四方よし」の精神をより進化させることで、当社グループの社会的価値創出をより強化すべく、環境面では「新たな需要と供給づくり」「高回転経営」などを志向し、社会面では「ワークライフバランスの向上」「各種公的資格の取得支援」「こども食堂への物資支援・寄付」などに取り組み、ガバナンス面では「独立性が担保される役員構成」「社内体制の整備」などを充実させてまいります。

これらの活動を通じて、「サステナブルな社会に貢献できる会社づくり」に取り組んでまいります。

当社グループは、3つの重点戦略を強力に推進することで、「ロマンのある」「つぶれない」「社会に貢献できる」会社づくりに向けて事業を推進してまいります。株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解を賜りまして、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上